

## 「県土整備部における不適正事案に係る検討会議 第2回県土整備専門部会」開催概要

- 1 日 時 令和6年4月26日（金）午後3時～4時30分
- 2 場 所 千葉県庁南庁舎4階 収用委員会審理室
- 3 出席者 安田部会長、大杉委員、田部井委員\*、若松委員\* ※オンライン参加  
県土整備部長、災害・建設業担当部長、県土整備部次長、  
県土整備政策課長、技術管理課長、建設・不動産業課長

### 4 概 要

#### ○ 「県土整備部の事務執行」に係る検証等の進捗状況

- ・ 県と業者の適切な関わり方について検討するため、日頃どのように関係性を持っているか、出先機関幹部職員を対象に「県土整備部内所属における建設業者との関係性に関する調査」の結果報告を行った。

##### 《報告内容》

- 勤務時間外に業者と顔を合わせ、会食や飲食を行う機会としては、業界団体との意見交換会や総会後の懇親会などがあり、そのほか、地元地区活動や大学の同窓としての交流会などとの回答があった。
- 業者との会食の必要性については、「特定業者との会食は制約しても支障は無い」との意見が多く、他方、団体との関係については、「会食は無くても意見交換はできる」という意見が多く寄せられるとともに、「顔の見える関係を作るうえで、業界団体との会食に意味はある」といった意見もあった。
- 夜間休日における建設業者との連絡方法については、個人携帯を使っているケースがあった。

- ・ コンプライアンスや談合防止などに関する研修の実施状況等について説明した。

#### ○ 「入札契約のあり方」に係る検証等の進捗状況

- ・ 過去3年の北千葉道路建設事務所の入札や調査基準価格等と同額又はごく近い金額で入札した案件など873件の入札時に提出された「工事費内訳書」について、「内訳額が県積算と完全に一致しているもの」や「入札額が予定価格等一致しているにもかかわらず内訳額が県積算と大幅に異なるもの」の有無やその理由などについて再確認を行っていることを説明した。
- ・ 指名競争入札や一般競争入札の入札実施状況や調査基準価格等の算出方法・算出時期などの他県の状況について調査結果の報告を行った。

##### 《報告内容》

- 千葉県のように指名競争の割合が高い県がある一方で、一般競争の割合が高い県もある。
- 調査基準価格等を開札時にシステム上で算出する方式など、入札情報の作成における職員の関与をなるべく少なくする取組を行っている県もある。

○ 「入札契情報等の管理」に係る検証等の進捗状況

- ・ 県土整備部独自の共有サーバーで情報を扱っていたが、現在は県全体のデジタル化の一環として全庁共有システムに移行しデータ管理していることを説明した。

○ 委員からの意見

【「県土整備部の事務執行」に係る検証等の進捗状況】

- ・ 県と業者の関係性について、リスクのない形で関係構築ができる方法を検討する必要がある。
- ・ コンプライアンスや談合防止などに関する研修の実施状況等について、他県の取組を参考としながら、自分事として理解できるような工夫を検討する必要がある。

【「入札契約のあり方」に係る検証等の進捗状況】

- ・ 他県の事例について、一般競争が多い自治体における運用上の課題や工夫なども確認しながら、情報漏洩のリスクがより低く、透明性、公平性の高い入札制度や事務のあり方について、検討を深める必要がある。

【「入札契情報等の管理」に係る検証等の進捗状況】

- ・ 電子データの取扱いについて、ルールどおりしっかり運用されているかチェックを行うことが必要である。